



沿革

- 1940年**
(昭和15年) 埼玉県大宮市中小村田に有限会社関東コンクリート研究所を創設しコンクリート水栓柱及びコンクリート二次製品の製造販売を開始する
- 1955年**
(昭和30年) 階段ブロック製造型枠の実用新案特許登録に依る階段ブロック製造を開始する
- 1956年**
(昭和31年) 遠心力応用によるコンクリート二次製品は業界の注目を集め、業績は飛躍的に拡大し社名を関東コンクリート工業株式会社と改称する
- 1960年**
(昭和35年) 国鉄・営団地下鉄、都営地下鉄、私鉄等に遠心力応用階段ブロックの利点を認められ需要も増大し、本社工場を埼玉県与野市本町東7丁目1番1号へ移転する
- 1976年**
(昭和51年) 遠心力応用コンクリート水栓柱の製造方法に関する実用新案第1121746号を取得及び階段ブロック登録第1126552号を取得する
- 1978年**
(昭和53年) 階段ブロックの製造機に関する実用新案登録第1257359号を取得
- 1986年**
(昭和61年) 水栓柱の遠心成型装置に関する実用新案登録第1593793号取得
- 1987年**
(昭和62年) プラットホーム用ブロックに関する意匠登録第723166号取得
- 1989年**
(平成1年) コンクリート板成型用型枠に関する実用新案登録第1790249号取得
- 1990年**
(平成2年) プラットホーム用ブロックの製造方法に関する特許第1574966号取得
- 1992年**
(平成4年) コンクリートブロックの製造方法に関する特許第1695367号取得
階段用ブロックに関する意匠登録第859863号取得
- 1993年**
(平成5年) 階段ブロックの製造方法に関する特許第1768601号取得
- 1996年**
(平成8年) 階段ブロックの製造方法に関する実用新案登録第2105206号取得
- 1998年**
(平成10年) 階段ブロックの製造方法に関する実用新案登録第3054213号取得
- 2001年**
(平成13年) 本社工場がさいたま市から行田市荒木の第二工場へ移転すると同時に本社事務所がさいたま市中央区本町東7-7-28へ移転、同時にコンクリート水栓柱の製造を終了する
- 2005年**
(平成17年) 標識を備えた階段ブロックに関する特許第4282664号取得
- 2010年**
(平成22年) 清掃水や汚水が階段設備の裏側に漏水することを防止するサニタリー付き階段ブロックに関する実用新案登録第3166210号取得
- 2013年**
(平成25年) 清掃水や汚水が階段設備の裏側に漏水することを防ぎ、かつ、短期間で経済的に構築することができる階段ブロックに関する実用新案登録第3190069号取得
- 2021年**
(令和3年) 本社事務所がさいたま市中央区本町東7-7-29へ移転
行田工場移転20周年